

# 日本コープ共済生活協同組合連合会

## CO・OP共済健康づくり支援企画の実施

(地域の生協が学・官・民と協働して取り組む健康づくりに対する費用支援)

超高齢・少子・人口減少などの社会課題に対し、地域のくらしづくりの担い手となる元気な高齢者の健康寿命を延ばしていくことは、ふだんのくらしを豊かにする生協およびCO・OP共済の社会的使命であり、大きな事業課題ととらえています。加入者・事業・地域社会への貢献を目的とし、当会会員生協がおこなう、食生活・運動・社会参加に関連する取り組みについて、費用支援をおこないます。

### <目標・取組>

- ①会員生協の健康づくりの取り組み計画について、審査委員会で審査をおこない、費用を支援します(計画は3ヵ年ごと。総額は年間3.3億円まで)。
  - ②会員生協の充実した取り組みにつなげるため、当会でも施策を検討し、全国共通の基盤として会員生協に提案をおこないます。
  - ③優れた取り組みの共有をおこない、当会および全国の生協職員の学び合いの機会をつくります。
  - ④全国の生協LPA(ライフプランアドバイザー)\*向けの学習プログラムを策定し、健康づくりの担い手としても活躍できるよう育成をすすめます。
- \* LPAとは:当会の独自資格。独自の講座を修了しライフルプランニングに必要な知識を有している。「くらしのお金」をテーマに組合員同士の学びあいの場を生み出している。

### <達成状況（2023末時点）>

- ①会員生協の健康づくりの取り組み計画について、審査委員会で審査をおこない、2021～2023年度の3年間に総額3.9億円の支援をしました。
- ②会員生協の充実した取り組みにつなげるため、当会で施策を検討し全国共通の基盤として会員生協への提案をおこないました。
- ③優れた取り組みの共有をおこない、当会および全国の生協職員が学べるよう、毎年、報告集の発行や健康づくりに関する取り組みの交流会（参加：2021年58人、2022年61人、2023年51人）を開催しました。
- ④全国の生協LPA(ライフプランアドバイザー)向けの学習プログラム「健康づくり支援センター養成講座」を2021年度に開始し、2023年度は第5期までの開催となりました。第1期からの累計で47生協305名の健康づくり支援センターが誕生しました。

### <関連情報>

CO・OP共済オフィシャルホームページ 健康づくり支援企画

<https://coopkyosai.coop/csr/kenko/>

(東京栄養サミットアクションプランにおいて賛同した項目)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 食料システムの変革        | <input checked="" type="checkbox"/> 個人の栄養に関する行動変容の促進 |
| <input type="checkbox"/> 食関連産業のイノベーションの推進 | <input type="checkbox"/> 途上国・新興国の栄養改善への支援            |

【企業・団体の概要】

cope共済連は、生協で取り扱うCO・OP共済の元受団体です。CO・OP共済を通じ組合員相互の助け合いにより、組合員のくらしの中の各種の危険による経済的な損失を保障することを中心にして、組合員のくらしの向上に役立ち、生協の発展、協同組合運動の普及と豊かな社会づくりへの貢献をめざします。

〈概況:2023年度末時点〉

加入者数 : 元受共済商品976万人、受託共済含め1,027万人

保有契約高(元受共済) : 15兆709億円

受入共済掛金(元受共済) : 2,238億円